

第31回 玉川上水緑の保全事業 都・区市連絡協議会 次第

1 開 会

2 都からの報告について

水道局からの報告

- (1) 玉川上水管理作業内容(上流部) (資料2)
- (2) 玉川上水管理作業内容(中流部) (資料3)
- (3) 史跡玉川上水整備活用計画の改定 (資料4)

3 住民団体からの連絡事項等について

- (1) 玉川上水の自然保護を考える会 (資料5)
- (2) 玉川上水の緑を愛する会 (資料6)
- (3) 井の頭バードリサーチ (資料7)
- (4) 玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会 (資料8)
- (5) 玉川上水・すぎなみの会 (資料9)
- (6) 玉川上水みどりといきもの会議 (資料10)

4 住民団体からの事例発表

- (1) 玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会 (資料11、12)
- (2) 小金井市環境市民会議 (資料13)

5 閉 会

<配布資料>

- 資料1 第31回(令和5年度)「玉川上水緑の保全事業 都・区市連絡協議会」の連絡事項等について
- 資料2 玉川上水管理作業内容について(上流部)
- 資料3 玉川上水管理作業内容について(中流部)
- 資料4 史跡玉川上水整備活用計画の改定について
- 資料5 立川市内法面除草の件(玉川上水の自然保護を考える会)
- 資料6 樹木の剪定・雑草の駆除等の樹木の管理について(玉川上水の緑を愛する会)
- 資料7 情報共有(井の頭バードリサーチ)
- 資料8 玉川上水の水面が見えるような植物管理をしてください(玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会)
- 資料9 植物調査、鳥類調査、セミなど夏の生きもの調査(玉川上水・すぎなみの会)
- 資料10 研究発表(玉川上水みどりといきもの会議)
- 資料11 市民団体の連携による「むさしの里山フェスタ」(玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会)
- 資料12 「むさしの里山フェスタ」チラシ
- 資料13 小金井市環境市民会議からの活動報告と提言

<住民団体からの情報共有事項等(質問・要望)>

区市名	団体名	件名	内 容	所 管	回 答
1	立川市	玉川上水の自然保護を考える会	立川市内法面除草の件	水道局	<p>・例年、立川市内の金比羅橋～清願院橋までの区間は、ご要望に配慮し、4月～6月の除草作業は行わず、7月以降に実施するよう業者へ指示しています。</p> <p>・貴重な野草のある場所は、ご要望をいただいた杭を目印に、作業するよう配慮しています。</p> <p>・玉川上水を流れる水は、東村山浄水場で飲料水として浄水処理するための貴重な原水であり、フェンス内への関係者以外の立ち入りはお断りしています。そのため、開錠のご要望はお受けできないことをご理解ください。</p> <p>以上の内容を毎年度当初に監理部署(小平監視所)と確認しております。</p>
2	三鷹市	玉川上水の緑を愛する会	樹木の選定・雑草の駆除等の樹木の管理について	水道局	<p>・藨や葛の除去は、作業場所が急峻で足場が悪いことや、機械が使用できず人力で作業している等の理由から時間を要していますが、下草刈り及び樹木処理作業に併せて順次実施してまいります。</p> <p>・松影橋の応急補修箇所の緑化方法は、現在委託にて設計しているところです。今後、沿線市等のご意見を頂きながら検討を進めてまいります。</p>
3	三鷹市	井の頭パードリサーチ	<p>①今季オオタカの繁殖について</p> <p>②オオタカの行動範囲について</p>	<p>建設局</p> <p>水道局</p>	<p>2020年、2022年、2023年ともに、井の頭恩賜公園内にて、オオタカの繁殖を確認しております。2023年につきましては、ナラ枯れによる枯損木に伐採予定のテープを巻いた段階で、近くにエナガの営巣情報が寄せられたことオオタカの巣材運搬情報も頂いたことから、3月初めの時点でこのエリア全体での伐採作業の中止を決定しております。当該枯損木の伐採は、オオタカ、エナガの巣立ち後に延期いたしました。</p> <p>オオタカの抱卵は、4月に入ってからですので、ご指摘にあるようなオオタカの抱卵中に伐採作業に入ろうとした事実はございません。毎年、オオタカの営巣については、市民活動団体等の御協力のもと、情報を頂いた時点で必要な対応がとれるように体制を組んでおります。</p> <p>・萬助橋～新橋区間は、基本的に伐採・せん定、下草刈り等の作業は実施しておりません。ただし、繁殖期を含め、安全管理上やむを得ず作業が発生する場合は、関係自治体や緑道管理者等へ 事前に連絡するとともに、作業による影響を少しでも抑えるよう努めていきます。</p>
4	武蔵野市	玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会	玉川上水の水面が見えるような植物管理をしてください	水道局	<p>・頂いたご意見を踏まえ、関係部署と調整しながら、剪定作業を進めるよう努めてまいります。</p>

<住民団体からの情報提供・依頼>

区市名	団体名	件名	内 容
1	杉並区 玉川上水・すぎなみの会	植物調査、鳥類調査、セミなど夏の生き物調査	<p>【資料9】 今年は春にフロラ調査とキンラン調査の植物調査を行いました。夏にはセミ調査と夏の生き物調査を行いました。秋にはそれに基づいた外来種駆除や緑道に繁茂した草を取る清掃・保全活動を行なっています。 また、年間を通じて月1回の鳥類調査を行なっています。そのまとめが日本野鳥の会のStrixに掲載されました。また、玉川上水の小平、小金井、井の頭、杉並の保全団体と協力して行ないました鳥類調査と樹木調査も山階鳥類研究所の論文になりましたので情報提供させていただきます。調査結果からは、残念ですが、杉並の玉川上水は、道路開通前と比べて生き物が減少しています。以前は普通にいた種が見えなくなったり、外来種が急激に増えたりして不安定です。植物ではキンランをはじめとする希少種は減少しています。全体的に森林の生き物は減少し都市型の生き物や外来種の侵入が見られます。異常気象、経年変化、開発の影響が考えられます。生態情報、生息地利用、衰退原因などまとめきれなかったため、回復を願い調査や保全活動を継続し再生の道を探っていきたいと思います。どうぞご指導ご協力をお願い申し上げます。</p> <p>1 2023.4.28 キンラン調査、玉川上水・すぎなみの会 報告1 https://www.dropbox.com/scl/fi/xv4postpihs9k52yk4y9/2023.4.28.-xlsx-2.pdf?rkey=9hzdy4lw4wl1tel2qetr6pxw6&dl=0 2 2023.4.17 玉川上水春のフロラ植物リスト https://www.dropbox.com/scl/fi/42ass3lu5afd7d5ro962z/20230417-2.pdf?rkey=pwhytinvqcfq8egaffqhv7kpn&dl=0 3 セミの調査2023 https://www.dropbox.com/scl/fi/4i0hoyoo2b101udrz2fku/2023.pdf?rkey=qbpbkotsi6w0vtord7o2uuenudl=0 4 2023年セミ抜け殻しらべで観察された夏の生物(玉川上水・牟礼橋～浅間橋)2 https://www.dropbox.com/scl/fi/iuu6sa6vi41dkqdw47dsg/3.pdf?rkey=3f267na3ecnc4g0oju4wlc710h&dl=0 5 2023年セミ抜け殻しらべで観察された夏の生物(玉川上水・牟礼橋～浅間橋) https://www.dropbox.com/scl/fi/26umyga02pvyoi8hbt3rs/3.pdf?rkey=t21koo9qs1vmrnie3f8aubjxc&dl=0 6 玉川上水緑の保全の杉並区に施設された大型道路が鳥類群集に与えた影響 https://www.dropbox.com/scl/fi/4kr57yw2su13t41gdhivv/Strix39_p025-.pdf?rkey=hb79wciyhaccsmu9r1wi7gq0b&dl=0 7 玉川上水の種生状態と鳥類群集 https://www.dropbox.com/scl/fi/d2wmmal8783fgcbffalwh/23.pdf?rkey=z6s4853yu4anht7utvkykbfj5&dl=0 8 玉川上水杉並に観察される季節の生き物 https://www.dropbox.com/scl/fi/01yq2qh60ljne9l6wsbmi/3.pdf?rkey=5ytpfmow5h613axg291p9hzat&dl=0</p>
2	小平市 玉川上水みどりときもの会議	研究発表	<p>【資料10】 玉川上水の4ヶ所(小平、小金井、三鷹、杉並)で樹木調査と鳥類調査を行った。その結果、小平と三鷹は状態の良い落葉樹林があるが、杉並では道路にはさまれて樹林が狭くなり、小金井ではサクラ以外は皆伐されたため、貧弱であった。また鳥類群集は小平が最も豊富で、特に樹林性の鳥類が多かった。三鷹がこれに次いだが、杉並ではかなり少なく、樹林性の鳥類は少なく、カラス類、ドバトなどが多かった。小金井は最も貧弱で、その中ではドバトやスズメなどが多かった。このように樹林のあり方は鳥類群集に強い影響を与え、生物多様性保全という意味では落葉樹林が良い状態であることがわかった。この内容は山階鳥類研究所の「山階鳥類学雑誌」に受理され、公表された。</p> <p>高槻成紀・鈴木浩克・大塚恵子・大出水幹男・大石征夫. 2023. 玉川上水の種生状態と鳥類群集. 山階鳥類学雑誌 (J.Yamashina Inst. Ornithol.), 55:1-24. https://doi.org/10.3312/yjio.55.40</p>

<住民団体からの事例発表>

区市名	団体名	件名	内 容
1	武蔵野市 玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会	市民団体の連携による「むさしの里山フェスタ」の開催	<p>【資料11】 武蔵野市内で活動する七つの市民団体が実行委員会を結成し、市内の玉川上水・雑木林・農地で武蔵野市域の里山環境を楽しみながら体験するイベントとして開催した(令和5年度武蔵野市生涯学習事業費補助金交付事業)。 *日時:11月5日(日)、11日(土)、12日(日) *場所:市内の7か所の公園緑地や地域施設など *主なイベント(カッコ内は実施場所)。 ・玉川上水を知ろう・歩こう(玉川上水) ・森の自然でasobo(雑木林) ・竹けん玉作り(雑木林) ・芋ソルでリース作り(農地) ・落ち葉でたい肥作り(公園) 玉川上水をはじめ、都市に残された里山環境への関心を喚起するきっかけづくりができたものと考えている。</p> <p>【資料12】イベントの詳細は資料として付けたチラシを参照</p>
2	小金井市 小金井市環境市民会議	活動報告と提言	<p>【資料13】 小金井市環境市民会議は団体会員である「小金井玉川上水の自然を守る会」(こだまの会)の活動を通し、玉川上水の小金井地区における小金井サクラの整備活用の在り方について考察し、意見交換を行っている。生物多様性を守り自然保護を優先する立場から、「小金井玉川上水の自然を守る会」の取組を報告する。 (1)小金井市長との面談。こだまの会が要望書を提出 (2)小金井市長との面談2 いきもの会議から提言 (3)2つの活動報告 ①7月22日、玉川上水自然観察会を実施 ②7月23日、こだまのHPを見た市内の中学1年生3名から、インタビューを受けた。自分の住むまちの環境について調べたところ「小金井といえば桜だが、そのほかの植物の事はどうなのだろう」と疑問を持ったようだ。 今後は小金井市においては名勝小金井サクラ整備活用計画の進め方や、東京都の緑の保全事業については、中学生など子どもの意見を聞いて、計画の見直しも含め進めるべきであると提言致します。</p>

玉川上水管理作業内容について（上流部）



○ 上流部

宅地内や遊歩道、車道に越境し支障をきたしている玉川上水内の樹木の伐採、剪定及び草刈りを行います。

令和5年度樹木伐採・剪定作業
施工予定箇所

令和5年度 玉川上水路施工予定箇所 案内図

①	新堀橋下流右岸	福生市福生1763-8
		<p>施工前</p> 
<p>現況</p> <p>玉川上水路内樹木の枝が伸びているので、せん定して欲しい。</p> <p>対策案</p> <p>住民からの要望に応じて、樹木のせん定を実施予定。</p>		<p>施工後</p> 
②	福生橋上流右岸	福生市熊川906-6
		<p>施工前</p> 
<p>現況</p> <p>玉川上水路内樹木の枝が伸びているので、せん定して欲しい。</p> <p>対策案</p> <p>住民からの要望に応じて、樹木のせん定を実施予定。</p>		<p>施工後</p> 

令和5年度 玉川上水路施工予定箇所 案内図

<p>③ 美堀橋上流左岸</p>	<p>昭島市美堀町2-6-1</p>
	<p>施工前</p> 
<p>現況</p> <p>玉川上水路内樹木の枝が伸びているので、せん定して欲しい。</p>	<p>施工後</p> 
<p>対策案</p> <p>住民からの要望に応じて、樹木のせん定を実施予定。</p>	
<p>④ 堂橋下流左岸</p>	<p>羽村市川崎3-10-13</p>
	<p>施工前</p> 
<p>現況</p> <p>玉川上水路内樹木の枝が伸びているので、せん定して欲しい。</p>	<p>施工後</p> 
<p>対策案</p> <p>住民からの要望に応じて、樹木のせん定を実施予定。</p>	

令和5年度樹木伐採・剪定作業
施工完了箇所

令和5年度 玉川上水路施工完了箇所 案内図

<p>① 山王橋下流左岸</p>	<p>福生市熊川813</p>
	<p>施工前</p>
<p>現況</p> <p>玉川上水路内樹木の枝が伸びているので、せん定して欲しい。</p>	<p>施工後</p>
<p>対策案</p> <p>住民からの要望に応じて、樹木のせん定を実施した。</p>	
<p>② 天王橋下流右岸</p>	<p>立川市一番町4-6-3</p>
	<p>施工前</p>
<p>現況</p> <p>玉川上水路内樹木の枝が伸びているので、せん定して欲しい。</p>	<p>施工後</p>
<p>対策案</p> <p>住民からの要望に応じて、樹木のせん定を実施した。</p>	

令和5年度 玉川上水路施工完了箇所 案内図

<p>③ 天王橋下流右岸</p>	<p>立川市一番町4-5-16</p>
	<p>施工前</p> 
<p>現況</p> <p>玉川上水路内樹木の枝が伸びているので、せん定して欲しい。</p> <p>対策案</p> <p>住民からの要望に応じて、樹木のせん定を実施した。</p>	<p>施工後</p> 
<p>④ 旧水路a地点</p>	<p>杉並区下高井戸3-8-17</p>
	<p>施工前</p> 
<p>現況</p> <p>水道局管理用地内にある樹木の枝が伸びているので、せん定して欲しい。</p> <p>対策案</p> <p>住民からの要望に応じて、樹木のせん定を実施した。</p>	<p>施工後</p> 

令和5年度 玉川上水路施工完了箇所 案内図

⑤	日光橋上流右岸	福生市熊川562
		<p>施工前</p>
<p>現況</p> <p>玉川上水路内樹木が折れて道を塞いでいるので処理して欲しい。</p>	<p>施工後</p>	
<p>対策案</p> <p>住民からの要望に応じて、倒木の処理を実施した。</p>		
⑥	旧水路g地点(笹塚橋上流右岸)	渋谷区笹塚1-25
		<p>施工前</p>
<p>現況</p> <p>玉川上水路内樹木が折れているので処理して欲しい。</p>	<p>施工後</p>	
<p>対策案</p> <p>住民からの要望に応じて、折れ枝の処理を実施した。</p>		

玉川上水管理作業内容について（中流部）



○ 中流部

橋梁・緑道からの眺望確保

橋や緑道からの玉川上水の眺望を、より良く管理（高木及び中低木の剪定・伐採、草刈り等）していきます。

法面の保護

崩壊を未然に防止し、良好な状態で保存するとともに、倒木等により周辺地に影響を与えることのないように法面の整備を実施します。

玉川上水管理作業：令和4年度の実施範囲と令和5年度の予定範囲

凡例

● 凡例

【R4~R5年度樹木処理作業範囲】

■ 高木処理(R4)・・・※1

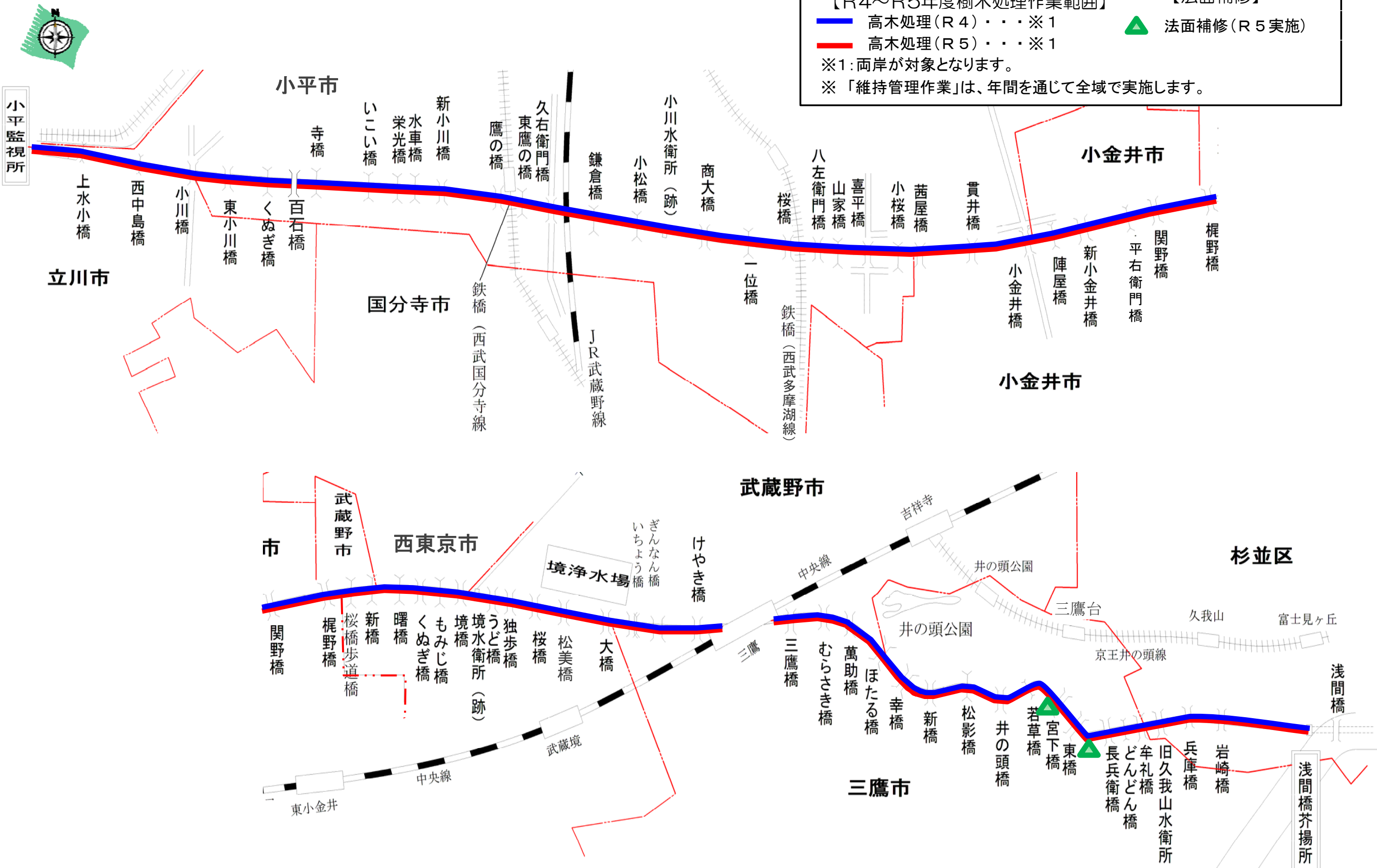
■ 高木処理(R5)・・・※1

▲ 【法面補修】

▲ 法面補修(R5実施)

※1:両岸が対象となります。

※「維持管理作業」は、年間を通じて全域で実施します。



令和5年度 玉川上水管理作業工程表

(注) 変更の可能性が有ります

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
維持管理作業 (草刈り・水路清掃・樹木剪定)	年間を通じて実施											
樹木処理作業					施工計画(文化庁、道路使用許可申請他)				樹木処理作業			
法面保護工事	法面保護工事											

作業イメージ

【通行の確保】



【危険樹木の処理】



【視認性の確保】



【眺望確保】



玉川上水管理作業のお知らせ

東京都水道局は、玉川上水を良好に保存するとともに、都民に親しまれる「水と緑の空間」を形成するための管理を行っていきます。

これらの管理作業は、倒木や樹木の成長による歩行者、通行車両、周辺住宅及び公共インフラ等への接触や、水路・法面の崩壊を未然に防止するとともに、眺望の確保等を目的に実施します。

お知らせについて

作業前には、現地近隣の橋に『看板』を設置し、『お知らせ』や『作業工程』等を掲示致します。
下の写真のように、作業を実施する『樹木』には、作業内容（伐採またはせん定）によって、テープ色を分けてお知らせ致します。



赤テープ：伐採



黄テープ：基本せん定



青テープ：軽せん定

作業内容および作業範囲

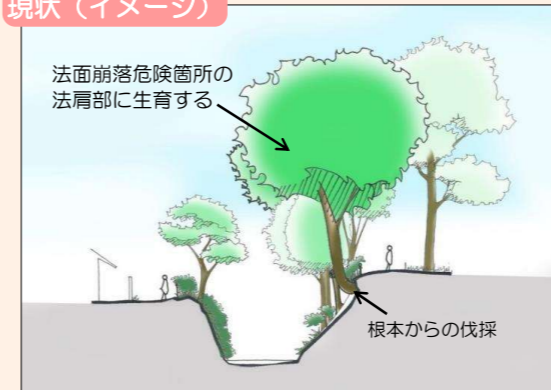
作業内容	作業範囲	施工者	備考
高木処理	小平監視所～関野橋	とうわ かぶしきかいしゃ 東和ランドテック株式会社	樹木のせん定・伐採 (主に中高木)
	関野橋～浅間橋(芥揚所)	かぶしきかいしゃ 株式会社ケイミックス	
維持作業	上水小橋～浅間橋(芥揚所)	きょうどくみあい シナジー協同組合	要望等によるせん定・伐採 草刈り・清掃

※高木処理の施工者により緊急時の対応を行うことがあります。

高木等の処理について

法面崩壊の危険がある樹木処理は、根元から行い、「萌芽更新」させていきます。

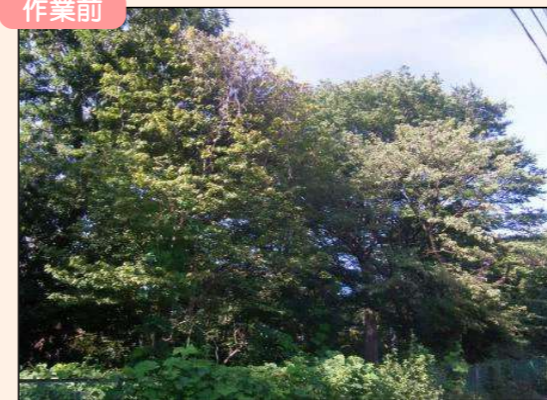
現状（イメージ）



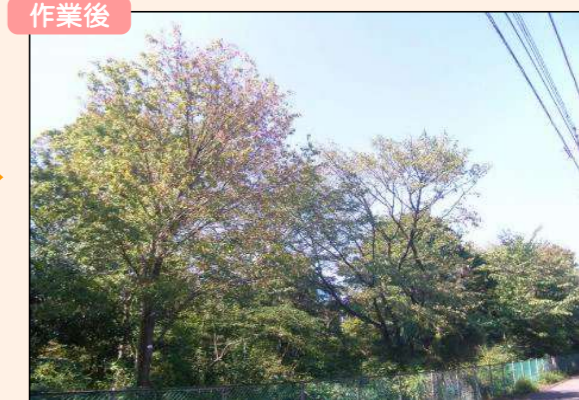
作業後（イメージ）



作業前



作業後

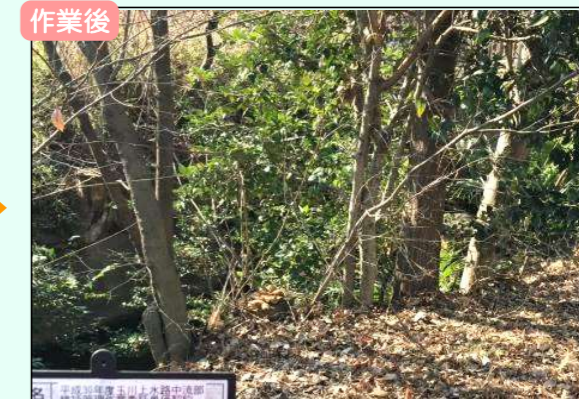


低木等の処理について

作業前



作業後



お問い合わせ先

東京水道（株）小平事業所
電話：042-534-0960
(発注者 東京都水道局境浄水場)
メールでのお問い合わせ（境浄水場）
sakai-suidoukyoku@waterworks.metro.tokyo.jp

《玉川上水路・あずま橋～長兵衛橋間 近隣にお住まいの皆様へ》

法面保護工事（その5）のお知らせ

日々、水道局事業にご理解、ご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

この度、玉川上水路の法面の一部に崩れが生じているため、下記のとおり、法面保護工事を実施することになりました。

工事期間中は、地元の皆様方には作業時における騒音等の発生により、ご迷惑をおかけいたしますが、細心の注意を払い、可能な限り、皆様にご迷惑のかからないよう作業をいたします。また、安全施工、工期短縮にも努めてまいります。

何卒、皆様方のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

記

工事件名 **玉川上水路法面保護工事（その5）**

工事の期間 **令和 5年 7月下旬 ～ 同年 11月下旬まで**

工事の内容 **法面補修工（土留柵・連続繊維補強土工・植生基材吹付工）**

作業時間 **午前8時00分～午後5時まで（予定）**

※原則として、土・日曜日、祝日は工事は行いません。
（月曜日～金曜日の間に、天候等により中止日がある場合は、休日を振替作業日とさせていただきます。）

工事箇所 **東京都三鷹市井の頭一丁目20番地先から同市牟礼一丁目7番地先間
玉川上水路 あずま橋～長兵衛橋間 右岸側（プラントヤードは左岸側）**

工事に関するお問合せ先

発注者 東京都水道局 東村山浄水管理事務所 境浄水場 施設管理担当
（本工事は、下記に監理業務を委託しております。）

監理受託者 東京水道(株) 小平事業所 担当 ○○ ○○
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
（受付時間：平日の午前8時30分～午後5時15分）

受注者 **ライチ株式会社** 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
現場代理人 ○○ ○○ 電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

（お問い合わせはこちらへ）



工程表（予定）

主たる工種	7月	8月	9月	10月	11月
準備工(測量等)					
仮設ヤード設置		お			
土留柵工		盆			
連続繊維補強土工		体			
植生基材吹付工					
後片付け					

史跡玉川上水整備活用計画の改定について

水道局

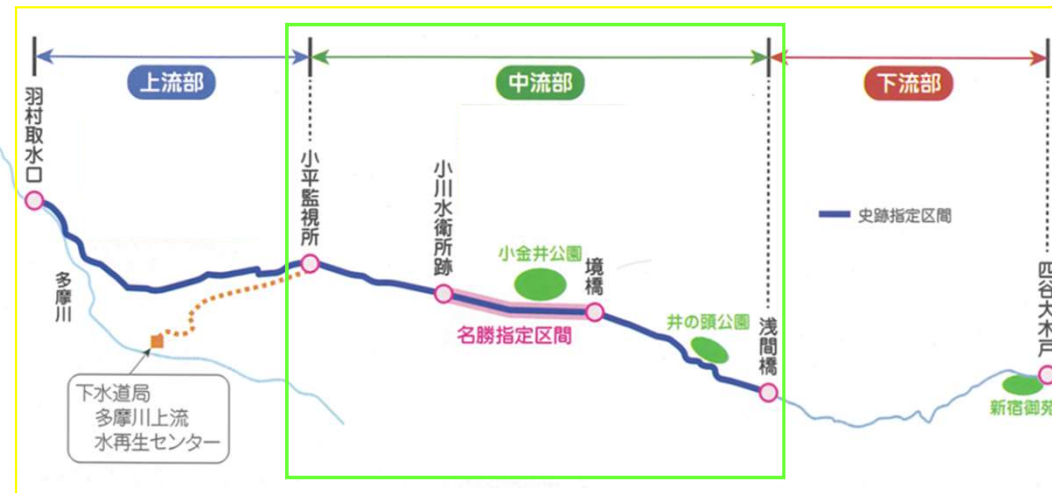
令和 5 年 1 2 月 2 0 日

1 「史跡玉川上水整備活用計画」 概要

史跡玉川上水の保存管理に係る計画の体系

	「史跡玉川上水保存管理計画書」 H19.3策定	「史跡玉川上水整備活用計画」 H21.8策定
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○玉川上水を適切に保存し、後世に継承していくための指針 ⇒ 現状維持を基本として、史跡の保存管理・活用、環境の保全 ○対象：全体（羽村取水口～四谷大木戸、約43 km） 	<ul style="list-style-type: none"> ○「保存管理計画書」に基づき、具体的施策を計画 ⇒ 水路・法面の保全、ヤマザクラ並木の復活、史跡の積極的な公開・活用 ○対象：中流部（小平監視所～浅間橋、約18 km）
計画期間	期間の定めなし	平成22～31年度 ※令和2年度から当面延長中

史跡玉川上水保存管理計画書



史跡玉川上水整備活用計画



2 整備活用計画改定の方向性

(1) 計画改定にあたって

- 現行の整備活用計画に基づく取組の継続が必要
- 新たに発生した課題への対応が必要



これまでの取組を検証した上で、計画改定を検討

目的	水道局が関係機関等と連携して取り組むべき施策をとりまとめ	
対象範囲	玉川上水中流部（小平監視所～浅間橋 約18km）	
計画期間	令和6年度中～令和15年度（概ね10年間）	
検討の前提条件	水質・水量	・ 中流部の <u>水量及び水質</u> については、 <u>現状維持</u> を前提とする
	水路・法面	・ 法面の崩落危険箇所が継続して発生しているため、引き続き、「活用整備」だけでなく、「 <u>保存整備</u> 」も実施する
	樹木	・ 玉川上水は地域に親しまれる緑の空間であることや、生物多様性の保護の観点から、法面崩落の危険性が高い箇所などで伐採が必要な場合を除き、 <u>史跡・名勝と緑との調和を図る</u>
	その他	・ 玉川上水の周辺では、すでに地元団体等による多様な活動が行われていることから、施策の推進にあたっては、 <u>関係機関や地元団体等との協働を進める</u>

2 整備活用計画改定の方向性

(2) 主な論点

事項	課題	備考
水路・法面の保全	<ul style="list-style-type: none">法面の崩落危険箇所への喫緊の対応（法面補修・雨水流入対策）将来にわたり現状の水路機能を維持するための対応（樹木対策等）	第1回委員会 議事資料 9P~12P
小金井サクラの保存	<ul style="list-style-type: none">サクラを被圧する樹木への対応モデル区間の適切な維持管理をするための対応	第1回委員会 議事資料 13P~14P
植生管理	<ul style="list-style-type: none">台風被害やナラ枯れ等の近年の状況を踏まえた樹木管理生物多様性に配慮した植生管理の考え方	第1回委員会 議事資料 10P・12P
活用整備	<ul style="list-style-type: none">施設（説明板等）の更新、内容の充実地元自治体との連携及びP R活動の継続	第1回委員会 議事資料 15P~17P

2 整備活用計画改定の方向性

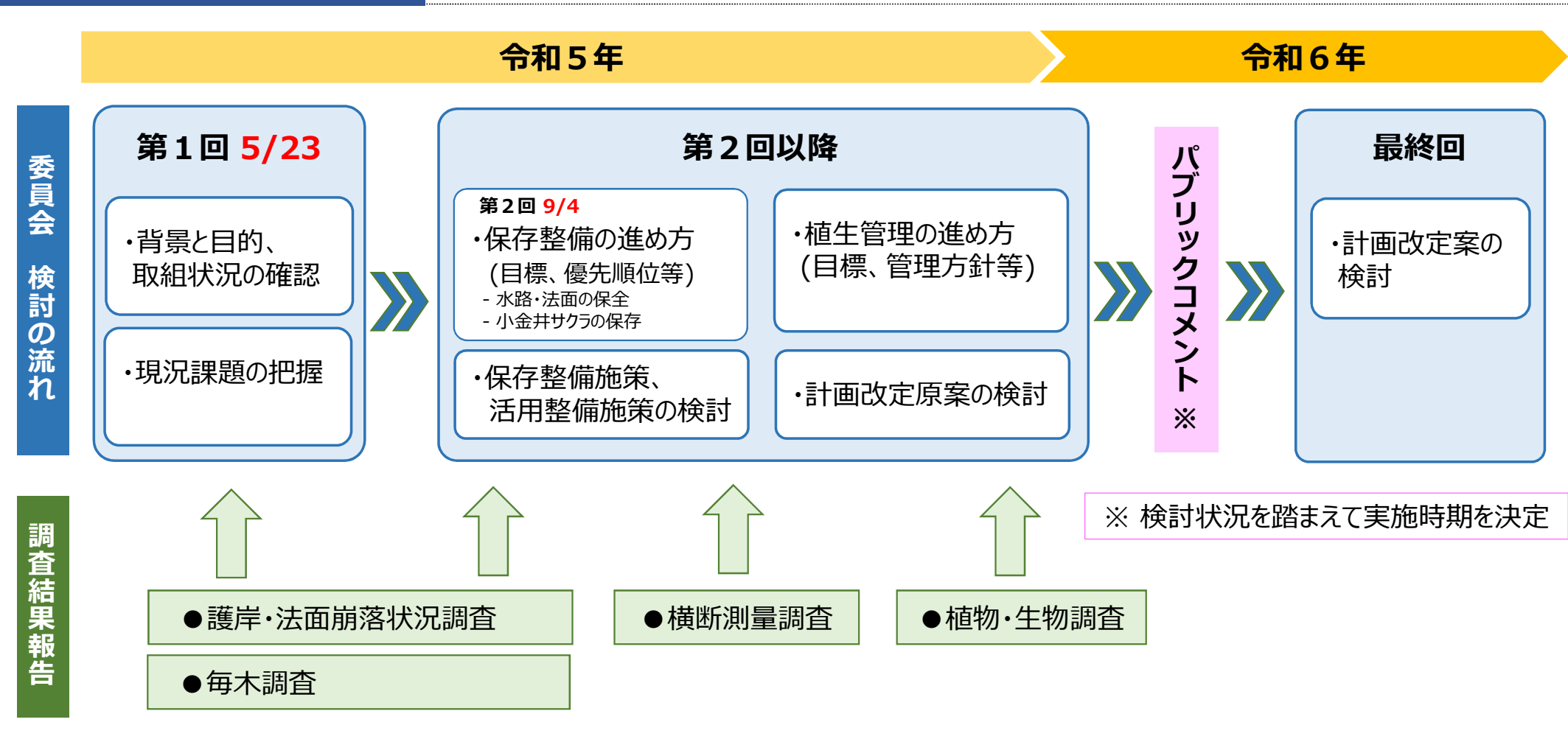
(3) 現況調査の実施

- 玉川上水中流部（フェンス内側）を対象に現況調査を実施
⇒ 調査結果は「史跡玉川上水整備活用計画検討委員会」で報告

調査目的	調査項目	内容	実施時期
水路の保存状況の把握	護岸・法面崩落危険箇所調査	・ 水路内を踏査し、法面が崩壊箇所を確認	R5.1～3月
	横断測量調査	・ 水路の横断面を測量（200箇所）	R5.1～3月
自然環境の把握	毎木調査	・ 胸高直径10cm以上の全樹木（約9,000本）を対象に、樹種、樹高、健全度等を調査	R5.1～3月
	植物調査	・ 調査範囲に出現する植物種を記録（植物相調査） ・ 植生区分ごとに優占種を記録（林床植生調査）	R5.3～秋季
	その他の生物調査	・ 哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、昆虫類、水生生物の生息状況を調査	R5.4～冬季

2 整備活用計画改定の方向性

(4) 検討の流れ (予定)



3 その他

史跡玉川上水整備活用計画の改定に係る住民説明会について

- 東京都水道局は、11月7日、史跡玉川上水整備活用計画の改定に係る住民説明会を行いました。
- 住民説明会の資料は、水道局ホームページに掲載しています。



【問合せ先】 東京都水道局経理部管理課 （メール） S3000004@section.metro.tokyo.jp

立川市内法面除草の件

玉川上水の自然保護を考える会

- ・ホタルが上陸しさなぎになり、飛ぶまでは 4 月末より 6 月いっぱいまでかかる。この間、法面の除草をしないでほしい。
- ・貴重な野草のある場所に 50cm ほどの杭を立ててあるので、杭の半径 30cm は除草をしないでほしい。
- ・6 月初旬、ホタルの捕獲（産卵、孵化し幼虫を放流）のため 19:30～20:30、1 か所 南京錠の開錠をお願いしたい。

以上の件、年度が変わり人事で東村山浄水場（小平監視所）の担当者や除草業者が変わっても、今まで共通理解し実施していたことを引き継いでほしい。

樹木の剪定・雑草の駆除等樹木の管理について

玉川上水の緑を愛する会

- ・松影橋付近の樹木はすっかり蔦や葛におおわれてしまっています。新橋付近も同様です。樹木が枯れてしまうのではと心配です。管理はどの様になっているのでしょうか。
- ・松影橋右岸の崖崩れの補修部分はどの様に植樹されるのでしょうか

東京都環境局自然環境部および東京都水道局 御中

今年度「玉川上水緑の保全事業・区市連絡協議会」への情報共有

令和 5 年 10 月 30 日

井の頭バードリサーチ 代表 高野丈

玉川上水の樹林保全について、当会の考え方に変わりはありません。今季もわたしたちがモニタリングしている井の頭公園内の玉川上水流域の希少鳥類の生息状況について共有します。

・今季のオオタカの繁殖について

2023年もオオタカは繁殖を試み、成功しました。営巣地は昨年が続いて玉川上水萬助橋～ほとる橋間、左岸のヒノキ林でした。営巣木もヒノキで、繁殖に成功した 2020 年、2022 年シーズンとは少し離れた位置で、ハシブトガラスの古巣を乗っ取って子育てしました。繁殖開始は昨年より少し遅く、2月に求愛行動や交尾を確認しました。抱卵を始めたのは4月で、幼鳥が親離れして分散したのが7月でした。今季成長し、親離れした幼鳥は1羽であることを確認しています。

今季も西部公園緑地事務所との情報共有がなされず、オオタカが放卵中に営巣木のすぐ脇のピンオーク枯損木の伐採作業が行われるようになるという危うい場面がありました。幸いわたしが現場で観察中であり、オオタカが放卵していることを現場の工事業者と西部公園緑地事務所の担当者に連絡し、延期してもらったことで事なきを得ました。伐採予定だったピンオーク枯損木は直前までオスが巣材の枝を頻りに折り取っていた木であり、メスが放卵中だったこともあって、昨年のアカマツ伐採よりも繁殖放棄のリスクが高かったと考えています。前回も書きましたが、オオタカは環境省レッドリスト 2020 年版で準絶滅危惧種にリストアップされており、保護に配慮する必要があります。今後も注意深くモニタリングし、情報共有しながら林を管理することが不可欠です。

・オオタカの行動範囲について

近年の詳細な行動観察により、井の頭公園で繁殖しているオオタカの行動範囲を把握しつつあります。当会が確認している行動範囲は、営巣地であるヒノキ林を拠点とし、井の頭自然文化園本園から井の頭公園西園の南西のアカマツまでと広く、井の頭公園のほぼ全域が主要な行動範囲に含まれます。とくに玉川上水の萬助橋～新橋区間沿いは行動範囲の中心であり、これまでどおり原則として環境改変は行わないことが生物多様性保全上重要です。安全管理などでやむを得ない樹木の伐採などを検討する際にも事前に、情報共有していただくことがたいせつです。

引き続き連絡を取り合い連携しながら、玉川上水と生物多様性保全のためよりよい方向で活動していければ幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。以上

井の頭バードリサーチ代表 高野丈

〒181-0002 三鷹市牟礼4-20-5-502

携帯 090-7410-3984

Eメール inokashira.joe@gmail.com

玉川上水の水面が見えるような植物管理をしてください

玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会

玉川上水は、場所によっては十分な剪定がなされておらず、水面が見えないほどに枝葉が茂っている。せっかくの玉川上水も水面が見えないのでは、上水といえない。今の状態だと、万が一、人の落下があっても発見が遅れざるをえない。

したがって、次の剪定のタイミングのときに、水面が柵の外からでも見えるぐらいに枝を切って頂きたい。

植物調査、鳥類調査、セミなど夏の生き物調査

玉川上水・すぎなみの会

今年は春にフロラ調査とキンラン調査の植物調査を行いました。夏にはセミ調査と夏の生き物調査を行いました。秋にはそれに基づいた外来種駆除や緑道に繁茂した草を取る清掃・保全活動を行なっています。

また、年間を通じて月1回の鳥類調査を行なっています。そのまとめが日本野鳥の会の Strix に掲載されました。また、玉川上水の小平、小金井、井の頭、杉並の保全団体と協力して行ないました鳥類調査と樹木調査も山階鳥類研究所の論文になりましたので情報提供させていただきます。調査結果からは、残念ですが、杉並の玉川上水は、道路開通前と比べて生き物が減少しています。以前は普通にいた種が見れなくなったり、外来種が急激に増えたりして不安定です。植物ではキンランをはじめとする希少種は減少しています。全体的に森林の生き物は減少し都市型の生き物や外来種の侵入が見られます。異常気象、経年変化、開発の影響が考えられます。

生態情報、生息地利用、衰退原因などまとめきれなかったもので、回復を願い調査や保全活動を継続し再生の道を探っていきたいと思います。どうぞご指導ご協力をお願い申し上げます。

資料1

<https://www.dropbox.com/scl/fi/xv4postpiahs9k52yk4y9/2023.4.28-.xlsx2.pdf?rlkey=9hzdy4lw4wl1tel2qetr6pxw6&dl=0>

資料2

<https://www.dropbox.com/scl/fi/42ass3lu5afd7d5ro962z/20230417-.pdf?rlkey=pvhytinvcfq8egaffqhv7kpn&dl=0>

資料3

<https://www.dropbox.com/scl/fi/4i0hoyco2b101udrz2fku/2023.pdf?rlkey=qbppkotsi6w0vtcrd7o2uuenu&dl=0>

資料4

<https://www.dropbox.com/scl/fi/iuu6sa6vj41dkqdw47dsg/3.pdf?rlkey=3f267na3ecn4g0ju4wlc710h&dl=0>

資料5

<https://www.dropbox.com/scl/fi/26umygao2ppyoi8hbt3rs/3.pdf?rlkey=t21koo9qs1vmrnie3f8aubjxc&dl=0>

資料6

https://www.dropbox.com/scl/fi/4kr57yw2su13t41gdhlyv/Strix39_p025-.pdf?rlkey=hb79wciyhaccsmu9r1wi7gq0b&dl=0

資料7

<https://www.dropbox.com/scl/fi/d2wmmal8783fgcbffalwh/23.pdf?rlkey=z6s4853yu4anht7utvkykbf5&dl=0>

資料8

<https://www.dropbox.com/scl/fi/01yq2qh60ljne9i6wsbmi/3.pdf?rlkey=5ytpfmow5h613axg291p9hzat&dl=0>

研 究 発 表

玉川上水みどりといきもの会議

玉川上水の4ヶ所（小平、小金井、三鷹、杉並）で樹木調査と鳥類調査を行った。その結果、小平と三鷹は状態の良い落葉樹林があるが、杉並では道路にはさまれて樹林が狭くなり、小金井ではサクラ以外は皆伐されたため、貧弱であった。

また鳥類群集は小平が最も豊富で、特に樹林性の鳥類が多かった。三鷹がこれに次いたが、杉並ではかなり少なくなり、樹林性の鳥類は少なく、カラス類、ドバトなどが多かった。小金井は最も貧弱で、その中ではドバトやスズメなどが多かった。このように樹林のあり方は鳥類群集に強い影響を与え、生物多様性保全という意味では落葉樹林が良い状態であることが必要であることがわかった。この内容は山階鳥類研究所の「山階鳥類学雑誌」に受理され、公表された。

高槻成紀・鈴木浩克・大塚恵子・大出水幹男・大石征夫.

2023. 玉川上水の植生状態と鳥類群集. 山階鳥類学雑誌

(J.Yamashina Inst. Ornithol.), 55:1-24.

<https://doi.org/10.3312/jyio.55.40>

市民団体の連携による「むさしの里山フェスタ」の開催

玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会

武蔵野市内で活動する七つの市民団体が実行委員会を結成し、市内の玉川上水・雑木林・農地で武蔵野市域の里山環境を楽しみながら体験するイベントとして開催した（令和 5 年度武蔵野市生涯学習事業費補助金交付事業）。

*日時：11月5日（日）、11日（土）、12日（日）

*場所：市内の7か所の公園緑地や地域施設など

*主なイベント（カッコ内は実施場所）。

- ・玉川上水を知ろう・歩こう（玉川上水）
- ・森の自然で a s o b o（雑木林）
- ・竹けん玉作り（雑木林）
- ・芋ツルでリース作り（農地）
- ・落ち葉でたい肥作り（公園）

玉川上水をはじめ、都市に残された里山環境への関心を喚起するきっかけづくりができたものと考えている。

（イベントの詳細は資料として付けたチラシをご参照）

むさしの里山フェスタ

市内の畑や森で、食べたり、あそんだり、秋の自然を楽しもう！
玉川上水の緑道を歩いて、地域の歴史と文化に触れよう☆
物作りをしてみよう！（竹けん玉、リース、落ち葉たい肥、ブローチ、菊の鉢植など）



11月 5日(日) 11日(土) 12日(日)

市内7か所で 午前10時～午後3時

☆参加費無料、事前予約なし(直接会場へ)

☆市内7か所で開催 場所と時間:裏面



里山ってどんなところ？

かつて人々の暮らしの中で営まれてきた農林業によって、多様な動植物の宝庫として、また、美しい風景として引き継がれてきた場所。(東京都環境局)

- イベント -
里山関連の展示
10/23-26
武蔵野プレイス ギャラリー

まってるよー!

⑥ 芋ツルでリース作り
収穫祭同時開催！
(農業ふれあい公園)

水

② 玉川上水を知ろう歩こう
・10か所のポイントを紹介
(西久保コミセン集合)

森と畑

③ 落ち葉でたい肥作り
(西久保公園)

畑

⑤ 竹けん玉作り
・生き物紹介
・植物紹介
・雑木林の話
(境山野緑地)

雑木林

里山体験 スタンプラリー
どこから始めてもOK!

① 植物に親しむ
・菊クイズ
・菊の鉢植え体験
(その後、家で育てる)
(むさしの市民公園)
(作品例)

人が集う

④ 森の自然でasobo
・ふくわらい・切り株アート
・スマホ(バイオーム)で生き物調べ(独歩の森)

子ども

⑦ 喫茶とブローチづくり
(テンミリオンハウス きんもくせい)



むさしの里山フェスタのイベント一覧

【 】内は主催団体



農業ふれあい公園

農業ふれあい公園の長屋門(上)と畑(下)



テンミリオンハウス
きんもくせい

⑦きんもくせいお休み処

○喫茶コーナー

11/5(日)・12(日)10時30分～14時30分
・飲み物100円、スイートポテト100円、各日
先着30名

○手作りコーナー

11/5(日)・12(日)13時～14時30分
・どんぐり帽子でブローチ作り(材料費100
円)、各日先着15名(中学生以下)

【ワーカーズコープ・センター事業団】



江戸時代から続く雑木林「独歩の森」



玉川上水(境橋から上流を臨む)

境山野緑地
(独歩の森)



西久保公園

西久保コミセン
(玉川上水緑道)



玉川上水



⑤竹けん玉作りと森の自然を楽しむ

11/11(土)10時～15時
・竹林の竹でけん玉作り
・生き物・植物紹介、雑木林のお話
【武蔵野の森を育てる会】

⑥畑の恵みを楽しもう
11/11(土)10時～14時ごろ
・サツマイモのツルでクリスマスリースづくり
・収穫祭も同時開催(焼芋、芋煮鍋、野菜販売など)
【NPO法人武蔵野農業ふれあい村】

④森の自然でasobo
11/5(日)・12(日)10時～15時
・森の自然物で造形遊び
・スマホアプリで生き物調べ
・森の素材でふくわらい
【どっぼ子どもクラブ】

①菊などの植物に親しむ
11/5(土)10時～14時
・菊クイズを楽しむ
・菊苗の鉢植え体験(持ち帰れます)
【植物に親しむ会】

むさしの市民公園

(市役所南側)



武蔵境駅

JR中央線

三鷹駅

◎各会場へのアクセスはQRコードからご覧ください。

◎雨天の場合は、次のとおり。

- ・ ①、⑦は、天候に関わらず行います。
- ・ ②は、西久保コミセンで玉川上水の自然と歴史の解説を行います。
- ・ ③～⑥は中止となります。判断に迷う場合、③は080-3021-9174、④⑤は090-5533-2316、⑥は080-4152-9667までご連絡下さい。

③落ち葉たい肥作り

11/5(日)10時～15時
・昨年仕込んだ落ち葉たい肥をフルイにかけて袋詰め
11/11(土)・12(日)10時～15時
・今年の落ち葉をたい肥場に集めて仕込み
※各日ともお土産：落ち葉たい肥小袋1袋
【クリーンむさしのを推進する会】

②玉川上水を知ろう歩こう

西久保コミセンに集合して、境山野緑地(独歩の森)まで歩きます
11/5(日)13時30分～15時
11/11(土)10時30分～12時
11/12(日)10時30分～12時
・玉川上水の歴史と自然を味わう
【玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会】

◆玉川上水緑の保全事業都・区市連絡協議会（第31回）**小金井市環境市民会議からの活動報告と提言**

2023年12月20日

小金井市環境市民会議 副代表 田頭祐子

小金井市環境市民会議は団体会員である「小金井玉川上水の自然を守る会」（こだまの会）の活動を通し、玉川上水の小金井地区における小金井サクラの整備活用の在り方について考察し、意見交換を行っている。生物多様性を守り自然保護を優先する立場から、「小金井玉川上水の自然を守る会」の取組を報告する。

(1) 小金井市長との面談。こだまの会が要望書を提出

2023年2月10日、市庁舎会議室で白井新市長と玉川上水の小金井地区について面談し、要望活動を行った。市長及び生涯学習部長への要望書と、こだま通信11号、「玉川上水みどりといきもの会議」作成の冊子『玉川上水についてのアンケート、とくに小金井のサクラについて』を提出し、今までの経緯とこだまの会の要望を伝えた。

白井市長からは、玉川上水は桜が育ちにくいところであることや、桜以外の樹木が皆伐され切株だけが並ぶ景色にショックを受けたこと、東京都水道局には生物多様性を大事にして欲しいと伝えたことなど率直なお話を頂いた。

小金井市長と、小金井市生涯学習部長に充てて、以下の項目で要望書を提出した。

(1) 「玉川上水・小金井桜整備活用計画」は、現状に対する市民アンケートを取るなど、桜以外の樹木の皆伐後の検証と見直しを行って下さい。

(2) 法面保護の観点からも生物多様性を軸にして、桜とそれ以外の樹木の適度な共生を図ってください。

(3) 上記の観点は、「小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会」の委員構成を見直して、市民参加による検証・評価の上で整備を進めてください。

(2) 小金井市長との面談2 いきもの会議から提言

5月25日、市庁舎会議室で白井市長と神山副市長、生涯学習課部長・課長との面談を行った。「玉川上水みどりといきもの会議」から、小金井の管理の在り方については法面崩落の懸念や台風による桜の倒木、鳥の種類や数の減少などの指摘があった。また桜と緑の共生を望む市民の声なども説明し、そのためにも、小金井桜整備活用推進委員会のメンバーの見

直しが必要と提言。市長からの話しの中で、小金井サクラの復活を推進する市民の中では、この計画に反対の人たちは「桜並木を不要だと言っている」との誤解があることも分かった。

(3) 2つの活動報告

①7月22日、玉川上水自然観察会を実施。講師は森林インストラクターの大石征夫氏。猛暑の中、陣屋橋～貫井橋間を歩いた。つる植物の繁茂やアキノタムラソウの咲き方に、緑陰の残る小平地区と日当たりの良すぎる小金井地区の違いがみられた。

なお例年実施している地表の温度調査は、「地球沸騰化」とも言われるこの夏の熱さから、緑陰の無い場所での連続した調査活動は危険であり控えるべきと判断せざるを得なかった。

②7月23日、こだまのHPを見たという市内の中学1年生3名から、インタビューを受けた。探求学習の授業テーマで、自分の住むまちの環境について調べたところ「小金井といえば桜だが、そのほかの植物の事はどうなのだろう」と疑問を持ったそうだ。

当日はまずフィールドで小金井サクラの補植と他の樹木の伐採の様子や、伐採痕にひこばえが出ている様子、強すぎる日照により繁茂したつる植物や外来植物の様子など、大石征夫氏の解説で案内した。その後は屋内で、こだまの会メンバーが中学生たちの質問に応じた。

彼らの中学校では12月に学習発表会があり、取材先の市民団体にも発表会への招待がありこだまからも2名が参加した。

中学生たちの報告は、参加者のメモに寄ればおおよそ以下の内容だった。

- ・玉川上水は200年以上前から桜の名所だった。小金井市が復活させようとしている。
- ・桜以外の木が伐採され、日当たりが良くなりクズなどが増え希少な草花が減っている。
- ・CO₂を吸収していた木がなくなり、近隣に排ガス、健康被害が生じた。
- ・桜以外の木を伐ることで、環境・生態系に影響していることを忘れない。
- ・桜を大事にすることとその他が対立してはうまく進まない。多様性を認め合う。
- ・斜面が崩れることも学者によって「木があるため」「木を伐らない方が良い」と違う。

➡このような現状を知らない人が多い、ブログやSNSを利用して知らせる。小金井だけでなく他地域にも当てはまることなので、興味を持ってもらえたら嬉しい。

中学生たちは、質疑応答でも以下のように冷静な受け答えであった。

Q 鳥が少なくなったのは木が減ったからなのか？

A 木がなくなることで、虫も少なくなり木の実もなくなり、鳥が来なくなる。

都市型の鳥は減らないが。(グラフを示し)

Q 桜はいま増えているのか、減っているのか？

A 植樹はしているが、台風で倒れるものもある。ケヤキに比べて成長が遅いのでやっと成長が始まったところ。

こだまの会及び環境市民会議では、中学生たちが玉川上水の保全事業に関心を持ったことを歓迎したい。また「お花見は好きだが、桜を植だけにすることはどのような影響があるのか」と、冷静な視点で観察や取材を行い、「小金井市の自然を守っていくためには、サクラ以外の植物も大切に、多様性を考えることが必要であり市民が自然について知ることのできる場をもっとつくっていくべきだと思う。」と考察にまとめていた事は高く評価したい。

今後は小金井市においては名勝小金井サクラ整備活用計画の進め方や、東京都の緑の保全事業については、中学生など子どもの意見を聞いて、計画の見直しも含め進めるべきであると提言致します。